

- 6 全体計画 (全57時間)
- 第1次 課題を決め、学習計画を立てる。 13時間
 - 第2次 課題についての情報を集め、まとめる。 20時間
 - 第3次 発表資料を整え、発表原稿を作り、発表リハーサルをする。 6時間
 - 第4次 「特ダネ・得だよ情報」活用発表をする。(発表会(試し) 手直し
リハーサル 次の発表会) 16時間(本時12/16時)
 - 第5次 生活や学習に生かすために、学習をふり返る。 2時間

7 本時の学習 (51/57時)

(1) ねらい

- ・ 課題について調べて分かったことや考えたことなどについて、興味をもってもらえるように友達に分かりやすく効果的に発表することができる。
(話し手として)
- ・ 友達の発表をしっかりと聞き、発表の仕方や発表内容によさを見付けたり、次の発表をよりよいものにするためのアドバイスをしたりすることができる。
(聞き手として)

(2) 展開

予想される児童の活動および反応	教師の支援《 》と評価(方法)《 》
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p align="center">「特ダネ・得だよ情報」発表会(試し4) ~ 分かりやすく伝えよう、しっかりと聞こう ~</p> </div> <p>1 グループに分かれて、発表会をする。 (発表の仕方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見たり触ったりしてもらうために、実物を展示する。 ・ 発表を楽しんでもらうために、クイズをする。 ・ 伝えたいことが分かるように、写真を拡大して提示する。 ・ 調べたことをまとめた本を紹介し、その中でも興味深い情報を一部について説明する。 <p>(発表するときの心がけ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言いたいことをしっかりとまとめて伝える。 ・ 分かりやすいように、よく聞こえる声でゆっくりと話す。語りかけるように話す。 ・ 原稿を見ずに、聞き手の方を見ながら、発表する。 <p>(聞くときの心がけ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し手の方をしっかりと見ながら、集中して聞く。 ・ 自分に生かすことができることを取り入れる気持ちで聞く。 <p>(発表内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和紙は、折ったり曲げたり開いたりする繰り返しに強い。しかも長期間保存が可能である。だから、紙幣にも使われている。実際にいくつもの作業を行いできあがる。職人さんの苦労を感じた。物をつくる時には、いろいろな工夫や努力をしていらっしゃると思う。これからは、物を大切に使いしていきたい。また、和紙以外の物についてもいろいろなことを知りたい。 <p>2 友達の発表についての「感想・アドバイスカード」を書く。 (発表の仕方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞きやすい声でゆっくりと話しているところがとてもよかった。 ・ ただひたすら話し続けるのではなく、間をとったり、途中で理解できたか確かめた方がいい。 <p>(発表内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ばくも さんのように、いろいろなことに進んでチャレンジしていきたい。 ・ 一つ一つの調べたことに対する 君の考えも発表に加えた方が 君だけの発表になる。 	<p>おたがいに発表の仕方のアドバイスや発表の時の協力がしやすいように、グループの人数を3人にする。(全12グループ) 互いの発表を聞き合えるようにするために、発表者を前・後半に分ける。 (発表場所は、6カ所) (前・後半20分ずつ) (一人当たりの発表は、 質疑応答を入れて、6分) (前半3人、後半3人の発表)</p> <p>話し手の発表を聞き手が集中して聞くことができるようにするために、発表会場は体育館として、発表場所も離す。 発表したり聞いたりするときの心構えを明確にして、よりよい発表会にできるように、事前に発表するときの心がけや聞くときの心がけについて話し合う。</p> <p>子供たちの発表をしたり聞いたりする時の集中度を高めたり、子供たちが次の発表でよりよい発表にするための参考資料として活用したりするために、一人一人の発表の仕方や発表内容についての感想・アドバイスカード(評価カード 付箋紙)を書く場を一人一人の発表終了後に設ける。 調べて分かったことや考えたことなどを、分かりやすく効果的に伝えることができたか。 (言動・表情・周囲のつぶやき) 友達の発表をしっかりと聞き、自分の発表に自信がもてたり、次の発表に生かせたりするような評価(内容面で、共感や感心した所、表現面での良い所をあげる。また、内容面での変更や付け加え、表現面でのアドバイス)ができたか。 (言動・つぶやき・カードの記述)</p>

(3) 本時の視点

- ・ 子供たちは伝えたり聞いたりすることに意欲的だったか。子供たちの発表は、「特ダネ・得だよ情報」になっていたか。
- ・ 教師は、子供たちの活動を助けるように行動していたか。